

アウトリーチ型支援病院 合同研修 I

東京都ナースプラザでは、担当職員が200床未満の病院を訪問し、看護職員定着促進の支援をしています。7月30日(木) 新型コロナウイルス感染対策を考慮した会場設営を行い「アウトリーチ型支援病院 合同研修 I」を開催しました。新宿区での感染者数増加の影響もありましたが、参加者の4病院11名の看護管理者やコアメンバーが自病院の課題を明らかにし「めざす姿」について話し合いました。

講義

テーマ：中小規模病院の役割とめざす姿を探す
講師：東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野
准教授 武村 雪絵先生

看護管理者と共に取り組む仲間これから自分たちがめざす姿を描き出し、共有しましょう



グループワーク

看護管理者とその仲間自分たちの「めざす姿」を描き出すグループワークを行いました。



「めざす姿」の手がかり
患者さんが望んでいることは何ですか？

- ・地域における自病院の役割や使命は何ですか？
- ・看護部の目標は何ですか？
- ・患者にもっと何を提供したいですか？
- ・そのためにはどのような看護が必要ですか？

★ 以上の視点で、意見交換し、現状とのギャップを確認しました。

短時間のグループワークでしたが、各病院の「めざす姿」や方向性が絞れてきました。

参加者の感想

管理職経験が浅く、日々不安な中で業務してまいりました。今回の合同研修では同じように悩みながら働いている他病院の状況や取り組みを知り、心強く感じました。一緒に参加したコアメンバーとも自病院の状況を整理し、めざす姿を共有する良い機会となりました。

講師からのメッセージ

看護の「めざす姿」を描き、看護への思いを日々言葉に出して語り続け、多くの人を巻き込んで取り組んでいきましょう。



看護管理者の皆様「アウトリーチ型定着促進支援」に参加し、魅力ある組織づくりに取組んでみませんか？
次回の研修「合同研修II」は10月8日(木)です。

東京都ナースプラザ確保係

